

中央アジアと東アジアにおける イスラム化

歴史に見るイスラムの東進の動き

2017年10月14日：併進会公開セミナー

北村 歳治

草薙田大学名誉教授
前職：大蔵省（内外の金融行政）、国際
通貨基金（IMF）、国際貿易監査問題の
公私監視委員会活動。
中央アジア等の市場移行国支援。

ユーラシアを横切った(世界)宗教

- ・ マニ教（ゾロアスター教の影響大）
 - <当初はともかく、最終的にはゾロアスター教によって滅ぼされる> + キリスト教ノース源 + 仏教
 - バルチック王国<安息国>の複雑さ
 - 宗教<ヒューリック>
 - 宗教<アステキリスト教>、仏教>
 - モンゴル帝国：
 - 宗教<アステキリスト教>
 - 文化<ペルシア的、アラビア系の再興を目指す>
- ・ 犹太教
- ・ 利未教
 - ① 12使徒の一人聖トマスの東進
 - ② キリスト教、ローマにおいて、エトラ教との接点も。宗教會議等を通じて教義の確立
 - ③ ネストラウス派の東進
 - ④ キリスト教（旧教・新教、海路と陸路）
- ・ 仏教
 - 紀元前後の頃から仏教の伝播（タクナ王朝<ヒンドゥ王>、バルチック<安息>、広義の西域、<列島盆地、天山南北路等>）
- ・ イスラム教
 - ① AD651年にウマイヤ朝 第3代カリフ・ウスマーンが派遣した使節の唐への渡来
（イスラム教（海路）7-8世紀以降のイスラム商人の東進）
 - ② 12世紀以降、スーカズムに活力を与えたイスラム教（海路と陸路）

中央アジアと東アジアにおけるイスラム化

—歴史に見るイスラムの東進の動き—

2017年10月14日 北村 繩治

(議論の骨子、配布資料の説明)

1. イスラムの登場と急速な拡大

- (1) 初期の段階
- (2) 中央アジアのイスラム化（中央アジアと言ってもやや漠漠）
 - (2-1) トルコ化ヒスパニズムの大きな流れ
 - (2-2) スーフィズムによって勢いづけられたイスラムの拡大
 - (2-3) 近世における中央アジアのイスラム

2. 中国とイスラム

- (1) イスラムの影響の歴史
- (2) 「清」以降の複雑な展開
- (3) 新疆ウイグル自治区

3. 東南アジアにおけるイスラム

- (1) イスラム商人の活動による萌芽的なイスラム化
- (2) 南シナ海を含む東南アジアの多島海におけるイスラム化の動き
 - ベトナムにおけるチャンバ、山田長政の時代におけるタイのイスラム教徒の活躍、
タイ深南部
- (3) 今日の東南アジアにおけるイスラム問題（ミンダナオ島、ミャンマー等）

4. 質疑の中でイスラムの諸侧面

- (話題) イスラム人口
スキタイ・匈奴・突厥・ウイグル、「明」「清」時代の漢回対立
モンゴルとイスラム
回族・回民・ウイグル
近代初頭までヨーロッパを凌駕していたイスラム経済、文化
中東イスラムと比較した中央アジア・イスラム、東南アジア・イスラム等
生活様式（膳、断食、最近のハラール問題）